

財形給付金ファンド

運用報告書(全体版)

第50期（決算日2025年10月19日）

作成対象期間（2024年10月20日～2025年10月19日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／国内／債券
信託期間	1975年10月20日以降、無期限とします。
運用方針	公社債および野村マネーポートフオリオ マザーファンド受益証券を主要投資対象とし、勤労者財産形成給付金制度および勤労者財産形成基金制度のための専用ファンドとして、安定した収益の確保を基本目標とします。
主な投資対象	財形給付金ファンド／公社債および野村マネーポートフオリオ マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。 野村マネーポートフオリオ マザーファンド／本邦通貨表示の短期有価証券を主要投資対象とします。
主な投資制限	財形給付金ファンド／外貨建資産への投資は行いません。 野村マネーポートフオリオ マザーファンド／株式への投資は行いません。
分配方針	運用による収益は、信託終了時まで信託財産中に留保し、分配は行いません。

野村アセットマネジメント株式会社

東京都江東区豊洲二丁目1番1号

●サポートダイヤル

0120-753104 〈受付時間〉 営業日の午前9時～午後5時

●ホームページ

<https://www.nomura-am.co.jp/>

○最近3期の運用実績

決算期	基準価額		債組入比率	債券率	債先物比率	券率	純総資産額
	期騰	中落率					
48期(2023年10月19日)	円 4,071	% △0.3	63.3	—	—	—	百万円 40
49期(2024年10月19日)	4,073	0.0	73.9	—	—	—	43
50期(2025年10月19日)	4,076	0.1	69.9	—	—	—	45

*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

*債券先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

*値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマークなどはありません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		債組入比率	債券率	債先物比率	券率
	騰	落率				
(期首) 2024年10月19日	円 4,073	% —	—	73.9	—	—
10月末	4,075	0.0	77.0	—	—	—
11月末	4,071	△0.0	77.0	—	—	—
12月末	4,071	△0.0	76.6	—	—	—
2025年1月末	4,068	△0.1	77.5	—	—	—
2月末	4,067	△0.1	77.5	—	—	—
3月末	4,066	△0.2	77.5	—	—	—
4月末	4,074	0.0	73.1	—	—	—
5月末	4,072	△0.0	74.7	—	—	—
6月末	4,074	0.0	74.8	—	—	—
7月末	4,074	0.0	76.7	—	—	—
8月末	4,074	0.0	76.6	—	—	—
9月末	4,074	0.0	77.2	—	—	—
(期末) 2025年10月19日	4,076	0.1	69.9	—	—	—

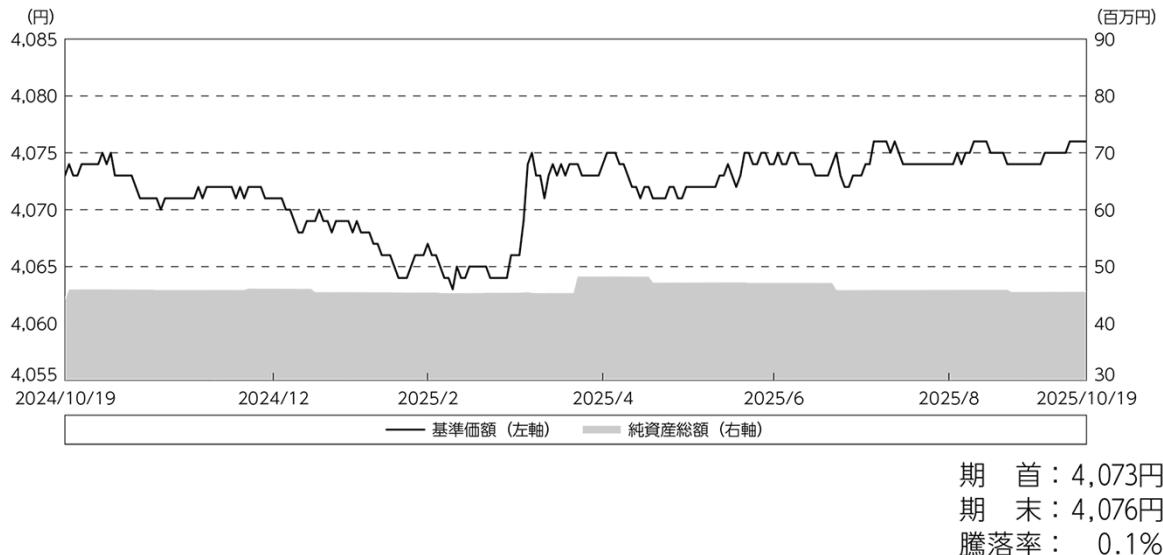
*騰落率は期首比です。

*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

*債券先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



○基準価額の主な変動要因

(上昇) 保有する債券から金利収入を得たこと。

○投資環境

今期の10年国債利回りは0.965%でスタートしました。

2025年1月に日銀が政策金利の0.5%への引き上げを決定するなど、金融政策の正常化が進展する中で、利回りは一時1.5%を上回る水準まで上昇しました。4月には米国が相互関税を課すことを発表したことで、株式市場が急落するなどリスク回避的な姿勢が強まりました。利回りは一時1.1%近傍まで低下しましたが、7月には日米の関税交渉で合意が成立したことなどを背景に、再度上昇基調に転じました。

その結果、期末の10年国債利回りは1.625%となりました。

○当ファンドのポートフォリオ

当ファンド

公社債とマザーファンドを合計した組入比率は概ね高位を保ちました。

マザーファンド

野村マネーポートフォリオ マザーファンド

残存1年以内の公社債等（現先取引も含む）やコール・ローン等で運用を行なうことで、安定した収益と流動性の確保を図りました。

○当ファンドのベンチマークとの差異

値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマークなどはありません。

◎分配金

該当事項はございません。

◎今後の運用方針

当ファンド

公社債とマザーファンドを合計した組入比率は概ね高位に保ちます。

マザーファンド

残存1年以内の公社債等（現先取引も含む）やコール・ローン等で運用を行なうことで、安定した収益と流動性の確保を図ります。

○ 1千口当たりの費用明細

(2024年10月20日～2025年10月19日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	円 1	% 0.020	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×期末時点の信託報酬率
(投信会社)	(0)	(0.008)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
(販売会社)	(0)	(0.011)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内のファンドの管理および事務手続き等
(受託会社)	(0)	(0.002)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) その他の費用	0	0.002	(b)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(監査費用)	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合計	1	0.022	
期中の平均基準価額は、4,071円です。			

*期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

*各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

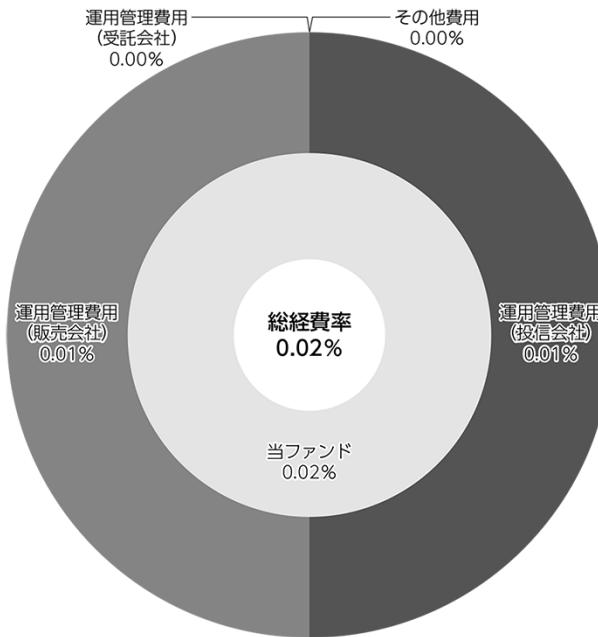
*その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

*各比率は1千口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.02%です。



(注) 当ファンドの費用は1千口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 当ファンドのその他費用には、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用が含まれます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2024年10月20日～2025年10月19日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
野村マネーポートフォリオ マザーファンド	千口 5,173	千円 5,200	千口 3,378	千円 3,400

*単位未満は切り捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2024年10月20日～2025年10月19日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2025年10月19日現在)

国内公社債

(A) 国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区分	当期		うちBB格以下組入比率	末		
	額面金額	評価額		5年以上	2年以上	2年未満
国債証券	千円 5,000	千円 5,226	% 11.5	% —	% 11.5	% —
合計	5,000	5,226	11.5	—	11.5	—

*組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

*金額の単位未満は切り捨て。

*評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

*残存期間が1年以内の公社債は原則として償却原価法により評価しています。

(B) 国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	当期末			
	利率	額面金額	評価額	償還年月日
国債証券	%	千円	千円	
国庫債券 利付(20年) 第123回	2.1	5,000	5,226	2030/12/20
合計		5,000	5,226	

*額面・評価額の単位未満は切り捨て。

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
野村マネーポートフォリオ マザーファンド	千口 37,737	千口 39,532	千円 39,857

* 口数・評価額の単位未満は切り捨て。

○投資信託財産の構成

(2025年10月19日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 5,226	% 11.5
野村マネーポートフォリオ マザーファンド	39,857	87.5
コール・ローン等、その他	470	1.0
投資信託財産総額	45,553	100.0

* 金額の単位未満は切り捨て。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2025年10月19日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資産	円
コール・ローン等	45,553,198
国債証券(評価額)	434,829
野村マネーポートフォリオ マザーファンド(評価額)	5,226,550
未収利息	39,857,076
34,743	
(B) 負債	5,154
未払信託報酬	4,729
その他未払費用	425
(C) 純資産総額(A-B)	45,548,044
元本	11,173,427
次期繰越損益金	34,374,617
(D) 受益権総口数	11,173,427口
1千口当たり基準価額(C/D)	4,076円

(注) 期首元本額は10,765,276円、期中追加設定元本額は2,580,301円、
期中一部解約元本額は2,172,150円、1口当たり純資産額は
4.0760円です。

○損益の状況 (2024年10月20日～2025年10月19日)

項 目	当 期
(A) 受取利息等収益	円 107,112
受取利息	107,112
(B) 有価証券売買損益	156,814
売買益	156,814
(C) 有価証券評価差損益	△ 219,250
(D) 信託報酬等	△ 10,168
(E) 当期損益金(A+B+C+D)	34,508
(F) 前期繰越損益金	41,012,909
(G) 解約差損益金	△ 6,672,800
(H) 計(E+F+G)	34,374,617
次期繰越損益金(H)	34,374,617

* 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

* 信託報酬率は、年0.02046%としております。

○お知らせ

「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正に伴い、運用報告書の電子交付に関する条文を変更する所要の約款変更を行ないました。 <変更適用日：2025年4月1日>

○（参考情報）親投資信託の組入資産の明細

(2025年10月19日現在)

<野村マネーポートフォリオ マザーファンド>

下記は、野村マネーポートフォリオ マザーファンド全体(59,462千口)の内容です。

国内公社債

(A) 国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区分	当期末					
	額面金額	評価額	組入比率	うちB級以下組入比率	残存期間別組入比率	
					5年以上	2年以上
国債証券	千円 40,000 (40,000)	千円 40,000 (40,000)	% 66.7 (66.7)	% — (—)	% 66.7 (66.7)	% — (—)
合計	40,000 (40,000)	40,000 (40,000)	66.7 (66.7)	— (—)	66.7 (66.7)	— (—)

* () 内は非上場債で内書きです。

*組入比率は、このファンドが組み入れているマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合。

*金額の単位未満は切り捨て。

*評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

*残存期間が1年以内の公社債は原則として償却原価法により評価しています。

(B) 国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	当期末			
	利率	額面金額	評価額	償還年月日
国債証券	%	千円	千円	
国債バスケット（変動利付・利付・国庫短期証券）※	—	40,000	40,000	—
合計		40,000	40,000	

*額面・評価額の単位未満は切り捨て。

*※印は現先で保有している債券です。

野村マネーポートフォリオ マザーファンド

運用報告書

第17期（決算日2025年7月11日）

作成対象期間（2024年7月12日～2025年7月11日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	本邦通貨表示の短期有価証券を主要投資対象とし、安定した収益と流動性の確保を図ることを目的として運用を行ないます。
主な投資対象	本邦通貨表示の短期有価証券を主要投資対象とします。
主な投資制限	株式への投資は行ないません。 外貨建資産への投資は行ないません。

野村アセットマネジメント株式会社

東京都江東区豊洲二丁目2番1号

<https://www.nomura-am.co.jp/>

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		債組入比率	債券率	債先物比率	券率	純総資産額
	期騰	中落率					
13期(2021年7月12日)	円 10,048	% △0.1	55.0	—	—	—	百万円 1,836
14期(2022年7月11日)	10,045	△0.0	52.2	—	—	—	38
15期(2023年7月11日)	10,042	△0.0	58.8	—	—	—	40
16期(2024年7月11日)	10,039	△0.0	54.4	—	—	—	44
17期(2025年7月11日)	10,070	0.3	72.3	—	—	—	41

*債券先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

*当ファンドでは、値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

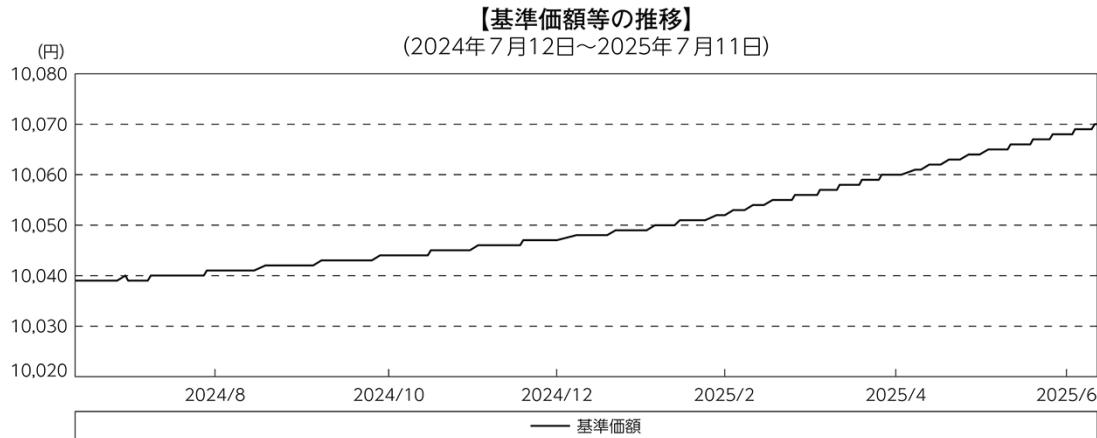
年月日	基準価額		債組入比率	債券率	債先物比率	券率
	期騰	中落率				
(期首) 2024年7月11日	円 10,039	% —	54.4	—	—	—
7月末	10,039	0.0	38.7	—	—	—
8月末	10,041	0.0	72.1	—	—	—
9月末	10,042	0.0	71.1	—	—	—
10月末	10,044	0.0	74.8	—	—	—
11月末	10,045	0.1	74.8	—	—	—
12月末	10,047	0.1	74.4	—	—	—
2025年1月末	10,049	0.1	75.3	—	—	—
2月末	10,052	0.1	75.5	—	—	—
3月末	10,056	0.2	75.5	—	—	—
4月末	10,060	0.2	70.7	—	—	—
5月末	10,064	0.2	72.3	—	—	—
6月末	10,068	0.3	72.3	—	—	—
(期末) 2025年7月11日	10,070	0.3	72.3	—	—	—

*騰落率は期首比です。

*債券先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



○基準価額の主な変動要因

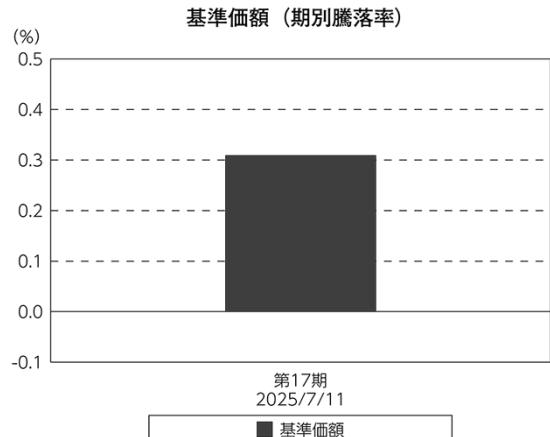
投資している短期有価証券やコール・ローン等からのインカムゲイン（利子収入）等。

○当ファンドのポートフォリオ

残存1年以内の公社債等の短期有価証券やコール・ローン等で運用を行なうことで、安定した収益と流動性の確保を図りました。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドでは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。
グラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



◎今後の運用方針

残存1年以内の公社債等の短期有価証券やコール・ローン等で運用を行なうことで、安定した収益と流動性の確保を図ります。

引き続きご愛顧賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

○1万口当たりの費用明細

(2024年7月12日～2025年7月11日)

該当事項はございません。

○売買及び取引の状況

(2024年7月12日～2025年7月11日)

公社債

		買付額	売付額
国 内	国債証券	千円 5,289,994	千円 5,230,078 (30,000)
	特殊債券	17,018	— (41,000)

*金額は受け渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

*単位未満は切り捨て。

* () 内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

(2024年7月12日～2025年7月11日)

利害関係人との取引状況

区分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B		売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	
		百万円	%		百万円	%
公社債	47	17	36.2	—	—	—

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村證券株式会社です。

(2025年7月11日現在)

○組入資産の明細

国内公社債

(A) 国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区分	当 期 末						
	額面金額	評価額	組入比率	うちBB格以下組入比率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
国債証券	千円 30,000 (30,000)	千円 30,000 (30,000)	% 72.3 (72.3)	% — (—)	% 72.3 (72.3)	% — (—)	% — (—)
合 計	30,000 (30,000)	30,000 (30,000)	72.3 (72.3)	— (—)	72.3 (72.3)	— (—)	— (—)

* () 内は非上場債で内書きです。

*組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

*金額の単位未満は切り捨て。

*評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

*残存期間が1年以内の公社債は原則として償却原価法により評価しています。

(B) 国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	当 期 末			
	利 率	額面金額	評価額	償還年月日
国債証券	% —	千円 30,000	千円 30,000	—
国債バスケット(変動利付・利付・国庫短期証券)※				
合 計		30,000	30,000	

*額面・評価額の単位未満は切り捨て。

*※印は現先で保有している債券です。

○投資信託財産の構成

(2025年7月11日現在)

項目	当 期 末	
	評価額	比 率
公社債	千円 30,000	% 72.3
コール・ローン等、その他	11,496	27.7
投資信託財産総額	41,496	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2025年7月11日現在)

項目	当期末
(A) 資産	41,496,938
コール・ローン等	10,520,797
公社債(評価額)	30,000,000
未収利息	141
差入委託証拠金	976,000
(B) 負債	0
(C) 純資産総額(A-B)	41,496,938
元本	41,209,870
次期繰越損益金	287,068
(D) 受益権総口数	41,209,870口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,070円

(注) 期首元本額は43,947,918円、期中追加設定元本額は5,671,014円、期中一部解約元本額は8,409,062円、1口当たり純資産額は1,0070円です。

○損益の状況 (2024年7月12日～2025年7月11日)

項目	当期末
(A) 配当等収益	149,870
受取利息	149,870
(B) 有価証券売買損益	△ 27,821
売買益	20
売買損	△ 27,841
(C) 当期損益金(A+B)	122,049
(D) 前期繰越損益金	172,781
(E) 追加信託差損益金	28,986
(F) 解約差損益金	△ 36,748
(G) 計(C+D+E+F)	287,068
次期繰越損益金(G)	287,068

*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

*損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

*損益の状況の中で(F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額

ファンド名	当期末
	元本額
	円
財形給付金ファンド	41,121,392
野村ブラックロック世界REITファンド Aコース (野村SMA・EW向け)	9,955
野村ブラックロック世界REITファンド Bコース (野村SMA・EW向け)	9,955
NEXT FUNDS ChinaAMC・中国株式・上証50連動型上場投信	9,938
野村PIMCO・世界インカム戦略ファンド 為替ナビ Eコース	9,937
野村PIMCO・世界インカム戦略ファンド 為替ナビ Fコース	9,937
野村DC・PIMCO・世界インカム戦略ファンド (為替ヘッジあり)	9,936
野村PIMCO・世界インカム戦略ファンド Aコース (野村SMA・EW向け)	9,935
野村PIMCO・世界インカム戦略ファンド Bコース (野村SMA・EW向け)	9,935
野村DC・PIMCO・世界インカム戦略ファンド (為替ヘッジなし)	4,974
野村PIMCO・世界インカム戦略ファンド Aコース	994
野村PIMCO・世界インカム戦略ファンド Bコース	994
野村PIMCO・世界インカム戦略ファンド Cコース	994
野村PIMCO・世界インカム戦略ファンド Dコース	994

○お知らせ

「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正に伴い、運用報告書の電子交付に関する条文を変更する所要の約款変更を行ないました。 <変更適用日：2025年4月1日>